

二子神社 川崎市高津区二子 1-4-1

地元に残る言い伝えでは、戦国時代に小山田兵部という武将がこの地に定住し、天照大御神を祀ったのが起源とされています。江戸時代から渡船場として栄えた二子宿の鎮守として往来する旅人や、宿場の商人など数多くの人々に敬われてきました。

境内には「誇り」と題された文学碑があります。これは、岡本太郎の母である歌人、かの子を偲んでデザインされたもの。かの子の実家大貫家は、二子の発展に尽くした旧家。碑はかの子が親しんだ二子の町と、多摩川を望むように佇んでいます。



二子神社の鳥居



社殿



二子の渡しの看板



二子の渡しの地図



岡本かの子の誇り



同左の碑